

新PDUカテゴリー構成と適用方針



プロフェッショナル研鑽活動に費やされた1時間は1PDUになります。
新しい6つのPDUカテゴリーは「教育」と「ギブバック活動提供」の2つに区分されます。

教育	ギブバック活動の提供
PMIのR.E.P.または支部やPMIコミュニティから提供される研修コース	新しいプロジェクトマネジメント知識の開発
アカデミック教育	ボランティア・サービス
自習	プロジェクトマネジメント活動

資格更新要件

PMP®/PgMP®は3年間に60PDU

PMI-SP®/PMI-RMP®は3年間に30PDU

教育

PDU申請数に制限はない

ギブバック活動の提供

PMP®/PgMP®は3年間で45PDUまで申請可

PMI-SP®/PMI-RMP®は3年間で20PDUま

PDUカテゴリー	カテゴリーの考え方
教育カテゴリー	
カテゴリーA: PMI登録済みR.E.P.または支部、PMIコミュニティ	<p>PMIに登録されたR.E.P.が提供する教育コースに参加しPDUを取得。これらR.E.P.はPMIが設定した品質基準に準拠し、提供コース受講者へPDUを発給することが認められています。R.E.P.は下記ロゴで識別できます。</p>  <p>R.E.P.の例としては、学校、コンサルタント、企業内の研修部門、専門職協会、政府機関とPMIの支部です。R.E.P.情報データベースからそれぞれが提供しているコース情報を見て下さい。</p> <p>PMIやPMI支部、PMI実務コミュニティが提供するイベント(セミナーやカンファレンス等)に参加してPDUを取得することもできます。これらイベント・リストはPMIのイベント・カレンダーや支部のウェブサイト、所属している実務コミュニティのウェブサイトから知ることができます。</p> <p>PMI®パブリケーション・クイズに答えてPDUを取得することができます(70%の正解が必要です)。</p>
PDUルール:	プロジェクトマネジメント、プロジェクト・リスク、プロジェクト・スケジューリングまたはプログラムマネジメントに関連した 1 時間の受講で 1PDU が付与されます。このカテゴリーの PDU は、 0.25 、 0.5 、 0.75 単位で申請します。
PMI 監査請求に必要な書類:	登録票、受講証明書、参加証明書
カテゴリーB: 継続教育	<p>PDUの取得は:</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学、単科大学で開催されるアカデミック・コースの終了 または PMIに未登録の研修提供機関が開催するプロジェクトマネジメントに関連する教育コースへの参加 所属企業内が提供、またはプロフェッショナル、会員またはR.E.P.登録をしていない研修機関提供による研修またはWebinarが含まれます。 <p>カリキュラム全体の内、「所有資格に関連した内容」についての割合でPDUを算出します。コースそれぞれに分けて申請してください。PDU申請は個々のコース毎に対してのみ受付ますので、学科全体をPDUの対象としては認められません。</p>
PDUルール:	プロジェクトマネジメント、プロジェクト・リスク、プロジェクト・スケジューリングまたはプログラムマネジメントに関連した 1 時間の受講で 1PDU が付与されます。このカテゴリーの PDU は、 0.25 、 0.5 、 0.75 単位で申請します。
PMI 監査請求に必要な書類:	<p>大学などのアカデミック機関のコース:成績証明書、合格印の押された等級報告書</p> <p>R.E.P.未登録機関またはコミュニティのコース:申込書、出席証明書または出欠表とカテゴリーBに準拠していることを説明したコース・フローチャートまたはコース資料(梗概)及び講師資格証明書</p>
カテゴリーC: 自習	<p>個人学習(研究、自習)によるPDUの取得。</p> <p>学習には下記が含まれる:</p> <ul style="list-style-type: none"> 記事、書籍、教育マニュアルの読解 ビデオやCD-ROM視聴、ポッドキャスト等のマテリアルの視聴 同僚、チームメート、お客様、コンサルタント等との公式な検討会 同僚、チームメート、コンサルタントからコーチングやメンタリングを受ける (自信がコーチやメンターを担当する場合は、ボランティア・カテゴリーとして申請) <p>上記は、すべてプロジェクトマネジメント、プロジェクト・リスク、プロジェクト・スケジューリングまたはプログラムマネジメントに関連した活動であり、所定の目的につながっていること、十分な知識を活用していることが前提です。</p>
PDUルール:	<p>当該カテゴリーとしてリストされた自習1時間に1PDUが付与される。</p> <p>ただし、下記の制約がある:</p> <ul style="list-style-type: none"> PMPやPgMP資格者は1CCRサイクルの間に30PDUを超えて申請することはできない。 PMI-SPやPMI-RMP資格者は1CCRサイクルの間に15PDUを超えて申請することはできない。
PMI 監査請求に必要な書類:	ディスカッションや読書をした「日にちの記録」も含め、申請した自習を行ったエビデンス。

PDUカテゴリ	カテゴリの考え方
ギブバック活動のカテゴリ	
PDUルール:	<p>・PMPやPgMP資格者は1CCRサイクルの間に、3つのギブバック活動カテゴリ合わせて45PDUを超えて申請することはできない。</p> <p>・PMI-SPやPMI-RMP資格者は1CCRサイクルの間に、3つのギブバック活動カテゴリ合わせて20PDUを超えて申請することはできない。</p>
カテゴリD: プロジェクトマネジメント知財の 新規開発	<p>自身の専門資格領域(プロジェクトマネジメント、プロジェクト・リスク・マネジメント、プロジェクト・スケジューリング、プログラムマネジメント)に関する知財の開発によるPDUの取得。</p> <p>対象となるものには下記が含まれる:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトマネジメント教科書の著書(共著) ・査読記事の著書(共著) ・査読なし記事の著書(共著) ・PMIのノーレッジ・シェルフ向け記事の著書(共著) ・ニュースレターへの関連記事の投稿 ・正式なブログ、専門家としてのブログ、企業のブログ用の記事の投稿 ・Webinarへの出演 ・ポッドキャストへの出演 ・プロジェクトマネジメント関連のコースウェアの作成や新規開発 ・講演者 ・関連ディスカッションでのモデレータ ・パネル・ディスカッションにおけるパネリスト <p>これら知財の準備時間、開発時間とプレゼンテーション時間の両方ともPDUを申請できます。講演者として資格保有者がプレゼンテーション資料の作成に7.5時間掛かり、プレゼンテーションを1時間した場合、8.5PDUとしてカウントできます。</p> <p>ギブバック活動カテゴリでのPDUの申請は、最大45PDU(PMI-SP,PMI-RMPは20PDU)まで。(カテゴリD, E, F)</p>
PDUルール:	当該カテゴリの活動 1時間 に対し 1PDU が付与される。
PMI 監査請求に必要な書類:	書籍やコースウェアの資料、同アジェンダのコピー
カテゴリE: ボランティア活動	<p>非雇用者や非クライアントの顧客グループへボランティア・サービスの提供や無償のプロジェクトマネジメント、プロジェクト・リスク・マネジメント、プロジェクト・スケジューリング、プログラムマネジメント・サービスの提供によるPDUの取得。</p> <p>対象となる活動の例は:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PMI支部やPMI実務コミュニティ活動のために選挙で当選したボランティア委員で、最短3ヶ月務める場合。 この活動は、合法的に認定された無償組織またはチャリティー・グループに対するものであること。 2. PMI支部やPMI実務コミュニティ活動を含むプロジェクトマネジメント組織でボランティアまたは任命された委員として最短3ヶ月活動すること。この活動は、合法的に認定された無償組織またはチャリティー・グループに対するものであること。 3. PMIまたはその他のプロジェクトマネジメント協会に対するプロジェクトマネジメントのボランティア・サービスの提供。この活動は、合法的に認定された無償組織またはチャリティー・グループ に対するものであること。 例として: <ul style="list-style-type: none"> ・PMIグローバル・コンgresでのボランティア活動 ・PMIメンバーズ・アドバイザー・ボード活動の提供 ・PMI標準化活動 ・PMI認定部署の活動へ参加 ・PMIリサーチ活動への参加 <p>*PDUの付与数はこれらの活動への参加レベルに対して決まる。</p> <p>このカテゴリでPDUがいくら取得できるかは、ボランティア機会オンライン・サービスを参照してください。</p> <p>4. プロジェクトマネジメント関連のボランティア・サービスを提供: <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティやチャリティー・グループへ この活動はPMBOK®に準拠したものでなければなりません。 ・教育目的で大学生のグループへ ・プロジェクトマネジメント・トピックに関するコーチとしてあるいはメンターとして </p> <p>ギブバック活動カテゴリでのPDUの申請は、最大45PDU(PMI-SP,PMI-RMPは20PDU)まで。 (カテゴリD, E, F)</p>
PDUルール:	当該カテゴリのボランティア活動 1時間 に対し 1PDU が付与される。選出された委員や任命された委員会メンバーはその役割で最短 3ヶ月 努めなければいけません。
PMI 監査請求に必要な書類:	<p>ボランティア・サービスの場合: プロジェクト・タスクを率いているまたはプロジェクト・チームの一員として活動していると認識されている組織からのレターや認定書</p> <p>メンタリングやコーチング・サービスの場合: ディスカッションや査読の日にちや記録を含む、コーチングまたはメンタリング活動を証明するエビデンス</p>

PDUカテゴリー	カテゴリーの考え方
ギブバック活動のカテゴリー	
カテゴリーF: プロジェクトマネジメントでプロフェッショナル活動	プロジェクト・マネジャー(プロジェクト・リスク・マネジメント職、プロジェクト・スケジューリング職、プログラム・マネジャー)としての活動で PDU の取得。
PDUルール:	<p>プロジェクト・マネジャー(プロジェクト・リスク・マネジメント職、プロジェクト・スケジューリング職、プログラム・マネジャー)として12か月のうち最短6ヶ月の活動が前提で、取得できるPDUは:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PMP, PgMP資格者の場合CCR期間(3年間)に15PDUを取得できます。 ・PMI-SP, PMI-RMPの場合CCR期間(3年間)に7.5PDUを取得できます。 ・PMP, PgMP資格者の場合12か月間に5PDUを申請できます。 ・PMI-SP, PMI-RMPの場合12か月間に2.5PDUを申請できます。 <p>ギブバック活動カテゴリーでのPDUの申請は、最大45PDU(PMI-SP, PMI-RMPは20PDU)まで。(カテゴリーD, E, F)</p>
PMI 監査請求に必要な書類:	雇用証明(仕事の説明書)

旧PDUと新PDUカテゴリーの比較は次ページを参照してください。

PDUカテゴリー新旧比較

旧カテゴリー 3年間での最大PDU	新カテゴリー 3年間での最大PDU
カテゴリー1: 正式なアカデミック教育	→ カテゴリーB: 継続教育
カテゴリー2A: 査読済み学術誌のプロジェクトマネジメントやプログラムマネジメントに関する記事の著者/共著者 記事当たり 30/20PDU	カテゴリーD: プロジェクトマネジメント知財の新規開発(旧カテゴリーの2A-2Gを含み、実務者に対するwebinars、podcasts、その他新たなメディア形態など新領域で開発) PMP, PgMP 資格者の場合、 D, E, F カテゴリー合わせて最大 45PDU まで申請可 PMI-RMP, PMI-SP 資格者の場合、 D, E, F カテゴリー合わせて最大 20PDU まで申請可
カテゴリー2B: 査読されていない出版物のプロジェクトマネジメントやプログラムマネジメントに関する記事の著者/共著者 記事当たり 15/10PDU	
カテゴリー2C: カンファレンス、シンポジウム、ワークショップ、正式なコースにおけるプロジェクトマネジメントやプログラムマネジメントに関するトピックの講演者または講師 講演当たり 10PDU	
カテゴリー2D: PMI コンポーネント会議(例:支部会議)におけるプロジェクトマネジメントやプログラムマネジメントに関するトピックの講話者 講演当たり 5PDU	
カテゴリー2E: カンファレンス、シンポジウム、ワークショップ、正式なコースにおけるプロジェクトマネジメントのパネル・ディスカッションのパネル・メンバーかモデレーター 活動当たり 5PDU	
カテゴリー2F: プロジェクトマネジメントやプログラムマネジメントに関するテキスト・ブックの著者/共著者 活動当たり 40/20PDU	
カテゴリー2G: プロジェクトマネジメントやプログラムマネジメントに関する体系化された研修プログラムの開発者 活動当たり 10PDU	
カテゴリー2H: プロジェクトマネジメントやプログラムマネジメント・サービスの6ヶ月を超える実践者 最大 15PDU	→ カテゴリーF: プロジェクトマネジメントでプロフェッショナル活動 カテゴリーFでは最大 15PDU まで申請可 PMP, PgMP 資格者の場合、 D, E, F カテゴリー合わせて最大 45PDU まで申請可 PMI-RMP, PMI-SP 資格者の場合、 D, E, F カテゴリー合わせて最大 20PDU まで申請可
カテゴリー2SDL: 自己管理に基づき、研究やスタディを含むプロジェクト個々に関する個人学習 最大 15PDU	→ カテゴリーC: 自習 このカテゴリーでは、 PMP, PgMP 資格者の場合、最大 30PDU まで申請可 PMI-RMP, PMI-SP 資格者の場合、最大 15PDU まで申請可
カテゴリー3: PMI に登録されている教育機関(REP) / PMI コンポーネントのコース	→ カテゴリーA: PMI 登録済み R.E.P. または支部、 PMI コミュニティが提供するコース
カテゴリー4: 区分3以外の提供者(プロバイダー)が提供するコース	→ カテゴリーB: 継続教育
カテゴリー5A: 非営利 PM 組織のボランティア役員 カテゴリー5の活動全て合わせて最大 20 PDU	カテゴリーE: ボランティア・サービス活動 (旧カテゴリー5A, 5B, 5Cと PIMI に対するボランティア活動) → PMP, PgMP 資格者の場合、 D, E, F カテゴリー合わせて最大 45PDU まで申請可 PMI-RMP, PMI-SP 資格者の場合、 D, E, F カテゴリー合わせて最大 20PDU まで申請可
カテゴリー5B: 非営利 PM 組織のボランティア委員会のメンバー カテゴリー5の活動全て合わせて最大 20 PDU	
カテゴリー5C: 公共または非営利慈善グループに対する PM 関連サービスのボランティア提供 カテゴリー5の活動全て合わせて最大 20 PDU	